

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度(評価)
 A: 十分達成できている C: やや不十分である
 B: おおむね達成できている D: 不十分である

学校名	佐賀県立唐津南高等学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 他者への思いやりなど豊かな心を身に着けたと実感できていない生徒が少ない。 細かな生徒間のトラブルが多い。 支援が必要な生徒の情報交換を定期的に行い、充実した教育相談体制が整っているため、より充実させたい。
------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○農業科と家庭科を併置する専門高校として、農業と家庭の専門的な知識・技術の習得を通じて、関連産業を担うスペシャリスト(職業人)を育成する。 ○産学官との連携を図り地域貢献を実践することで、唐津に根ざした「開かれた学校づくり」を目指す。
----------------------------	--

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○農業や食品、生活に関する産業(しごと)に興味や関心があるひと(進路意欲) ○農業や食品、生活に関する課題に興味や関心があるひと(学習意欲) ○地域の発展や活性化に貢献したいひと(地域貢献) ○地域との交流に積極的に参加したいひと(コミュニケーション力) 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験から学ぶ体験型学習による専門教育の充実 ○農業科と家庭科の横断的な学びの導入(生物活用、課題研究など) ○産学官と連携した探究学習(課題研究)を通じた地域課題の解決 ○関連産業の魅力を理解するための多様な外部講師授業の充実 ○地域社会とのつながりを深める交流事業の導入(販売会、農業セミナー、保育交流など) 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門的な知識・技術を通じて、社会の変化に柔軟に対応し、社会を生き抜く力を育成する。 ○自他を認め、協働して課題解決を目指すことのできる人材を育成する。 ○関連産業を担うスペシャリストとして、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。 ○産学官との連携を通じた地域とのつながりにより、地域を支える

4 本年度の重点目標	<p>★スローガン『“みなみ”で学び、育ち、つながり、夢をカタチに！』</p> <p>(1)基礎・基本の定着と学力向上を図り、確かな学力のもとに、より高い目標による進路実現を目指す。</p> <p>(2)元氣な挨拶、礼儀作法を身に付け、優しさや思いやりの心を醸成し、将来社会人としての資質向上を目指す。</p> <p>(3)地域との連携を強化し、地域資源の活用や地域貢献を推進する。また、学校の魅力や取組を積極的にわかりやすく発信し、地域に根ざした信頼される学校づくりを目指す。</p> <p>(4)学校現場の当たり前について、本当に生徒のためになっているかという視点で、教職員が主体的に考え、必要な見直しを行う。</p> <p>(5)教職員の働き方を見直し、心身の健康と働きやすさを大切にした職場(ウェルビーイングな職場)を目指す。</p>
------------	---

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
●学力の向上	○専門的な知識・技術の向上	○卒業までに3級以上の資格を3つ以上取得した生徒95%以上 ○日本農業技術検定3級の合格率70%以上 ○家庭科(被服製作・食物調理)技術検定の合格率100%	・資格取得の重要性を意識付けし、自主的に取得に向けた努力を促す。 ・専門教科に関する資格については、専門知識及び技術取得の目標に位置付け、重点的に指導を行う。					教務部 各学年主任 各学科主任 進路指導部
	○基礎学力の向上と家庭学習の習慣化	○朝の小テスト(国語・英語・数学)の平均点が80点以上 ○「授業におけるICT活用が学力向上につながった」と答えた生徒70%以上、教職員70%以上	・事前指導で実施するかテスト範囲の課題を確実に、家庭学習を習慣化させる。 ・指導担当者が授業内でICTを有効に活用し、生徒自ら学習に取組む態度を育成する。					教務部 各学年主任 各学科主任 進路指導部
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「地域貢献活動等を通して、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付けた」と答えた生徒80%以上	・地域清掃活動や地域貢献活動を通して、思いやりや社会性を育成する。					生徒会 農業クラブ 家庭クラブ
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●いじめ重大事案件数0件 ○「学校はいじめの撲滅や生徒の悩みに対応したり、命の大切さを学ぶ教育をしていると思う」と答えた生徒85%以上	・いじめに関するアンケートを年間に2回実施する。 ・いじめの覚知後は迅速に事実確認を行い、対策委員会を速やかに開催し組織的に対応する。					生徒指導部 各学年主任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●健康を考えて行動できる能力の育成	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ●定期健康診断後の再受診の受診率を45%以上にする	・保健だよりを毎月発行し、健康づくりの基本として正しい食習慣を意識づける。 ・eメッセージを活用した保護者への呼びかけはもろろん、保護者の都合に配慮し受診できる環境を整える。					保健部
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・学期に1回自転車点検を実施し、自転車の整備状況を確認する。 ・交通安全講話を実施し、交通安全ルールの規範意識を向上させる。					生徒指導部 各学年主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を設定し、呼びかけを行う。 ・部活動休養日を設定し、呼びかけを行う。 ・衛生委員会にて年休取得のための環境づくりを協議して協議する。					管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の知識・技術と意識の向上	○「特別支援教育に関する知識・技術及び意識が向上した」と答えた教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施する。 ・関係職員間での情報共有を行う。					教育相談

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒80%以上、教職員80%以上 ★県外からの入学者数1名以上	・生徒主体の学校開放講座を充実させ、信頼される学校づくりを目指す。 ・地域(幼保・小・中・関係機関等)と連携し、地域に開かれた学校づくりに取組む。 ・学校だよりを年間9回発行し、学校HPに掲載。 ・県外での学校PRの実施。 ・生徒が主体となるイベントを増やし、主体的に取組む姿勢を醸成する。					専門部 各学年主任
○地域産業への貢献	○◎地域の関連産業を担うスペシャリストを育成する	○「佐賀県(唐津)に誇りや愛着を感じる」と答えた生徒80%以上 ○県内就職率(3年生)65%以上	・課題研究発表会(一般公開) ・県内の企業や専門学校、大学の素晴らしさを生徒に知ってもらう取組を強化する。 ・各種コンテストの積極参加を後押しする。					専門部 各学科主任 PTA

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)	
----------------------	--